

復興へ、ともに

④8

このコーナーでは全国の地方公共団体から南三陸町に派遣されている職員を紹介します。



【氏名】佐藤 光由

【派遣元】宮城県 栗原市

【所属】保健福祉課

(高齢者福祉係)

今年4月から派遣職員として、栗原市から赴任しました。平成20年岩手・宮城内陸地震の際に、栗原市へいただいた支援の恩返しのつもりで、南三陸町の復興へ貢献できるよう頑張ります。



【氏名】酒井 克美

【派遣元】兵庫県 篠山市

【所属】復興市街地整備課

(復興都市整備係)

デカンショと黒豆のまち、篠山市から派遣されて参りました。山育ちなので、毎日海が見れる環境が新鮮で、不思議な感じですが、残り7か月、用地交渉を通じて多くの方とお話できる機会を大切に、楽しみたいと思います。



【氏名】森本 裕之

【派遣元】愛知県 豊橋市

【所属】環境対策課

(環境政策係)

4月より南三陸町に赴任してきました。南三陸町の観光資源のひとつである海産物は、酒処である東北地方の日本酒と相まってより美味しさが増し、日々、堪能させていただいています。短い期間ではありますが、皆様のお力になれるよう努力してまいりますので、よろしくお願いたします。



【氏名】今川 長康

【派遣元】愛知県 田原市

【所属】建設課

(公営住宅管理係)

キャベツとメロンの愛知県田原市から4月に赴任し、建設課の公営住宅管理係に配属となりました。南三陸町の復興の一助になれるよう頑張ります。町民の皆さんとの出会いに感謝、そして美味しい蛸に感動。(ご多幸あれ、ともに)

文化財探訪

文化財を見て歩こう！

南三陸町内の遺跡

新井田館跡 その3 志津川字新井田



作業の様子(柱の穴を掘っています)

平成25年から26年にかけて新井田館跡で調査が行われ、出土した物と放射性炭素年代測定値から、館跡の主な時期は15世紀代と考えられます。

新井田館が築城されたのは、鎌倉府と奥州探題による奥羽の二重支配の時期から鎌倉府を中心とする争いが続いた時期で、かつ一大勢力である葛西氏が支配領域を拡大させていたと推定される時期です。館跡には防御性を重視した地形の利用や改修の痕跡があり、この時期の複雑な利害関係による対立や争い、同盟等による支配の変化が関係していると推測されます。

今回の調査は15世紀代の中世城館の全面調査で、その実態が明らかになった全国的にも貴重な事例です。この成果は今後の城館研究における重要な資料の一つになると考えられます。

ご存知ですか？文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

問い合わせ

教育委員会生涯学習課文化財担当
☎46-2639 FAX 46-2607